フォーサイド グループ
2026年12月期 第3四半期
決算説明資料

補足説明資料

©2026 FORSIDE CO.,LTD.

2026年12月期 第3四半期　連結業績ハイライト

（単位：百万円）

	2025年度 第3四半期	2026年度 第3四半期	前年比	主な増減要因・傾向
売　上　高	6,786	4,806	70.8%	**＜売上高＞** プライズ事業の受注が好調に推移したほか、前第1四半期末に子会社化した株式会社antzが行う総合人材サービス事業が売上に貢献。一方で、AI関連事業におけるGPUサーバー販売の事業縮小により売上が減少した結果、前年同期比で減収となった。
売上総利益	1,441	1,455	101.0%	
販売管理費	1,103	1,330	120.6%	
営 業 利 益	337	124	36.9%	**＜営業利益・経常利益＞** プライズ事業が好調に推移し前年同期を上回る利益を計上。一方で、AI関連事業におけるGPUサーバー販売の事業縮小に伴う利益の減少により、前年同期比で減益となった。
経 常 利 益	351	132	37.6%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	323	68	21.0%	**＜四半期純利益＞** 営業利益・経常利益が前年同期を下回ったことに加え、株式会社エムの不正調査費用を計上したことにより、前年同期比で減益となった。

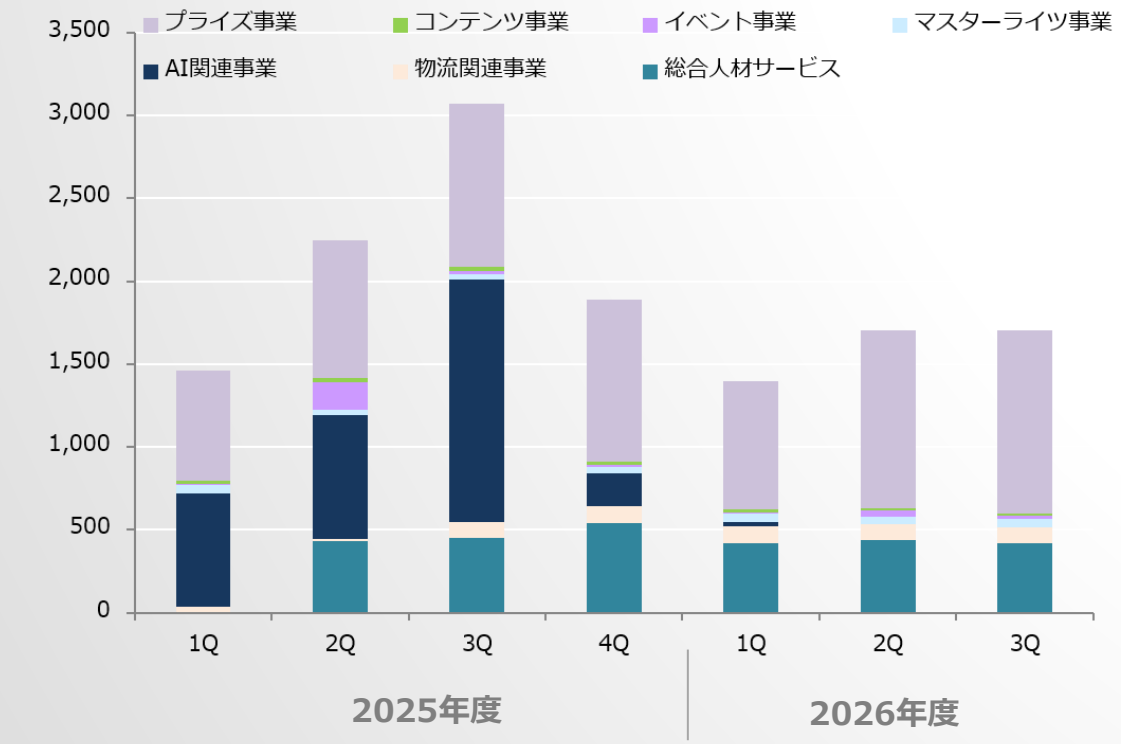
（※）株式会社エムが行う利用運送事業のうち実態の確認ができなかったものについて売上の取り消しを行っております。上記の前年同期数値は当該影響を反映した後の数値となっております。

プライズ事業が好調に推移、株式会社antzが行う総合人材サービス事業が売上に貢献。
一方で、GPUサーバー販売の事業縮小に伴うAI関連事業の売上減少やエムの不正調査費用を計上したことにより、売上高、利益ともに前年同期比で減少となった。

©2026 FORSIDE CO.,LTD.

売上高の推移

（単位：百万円）



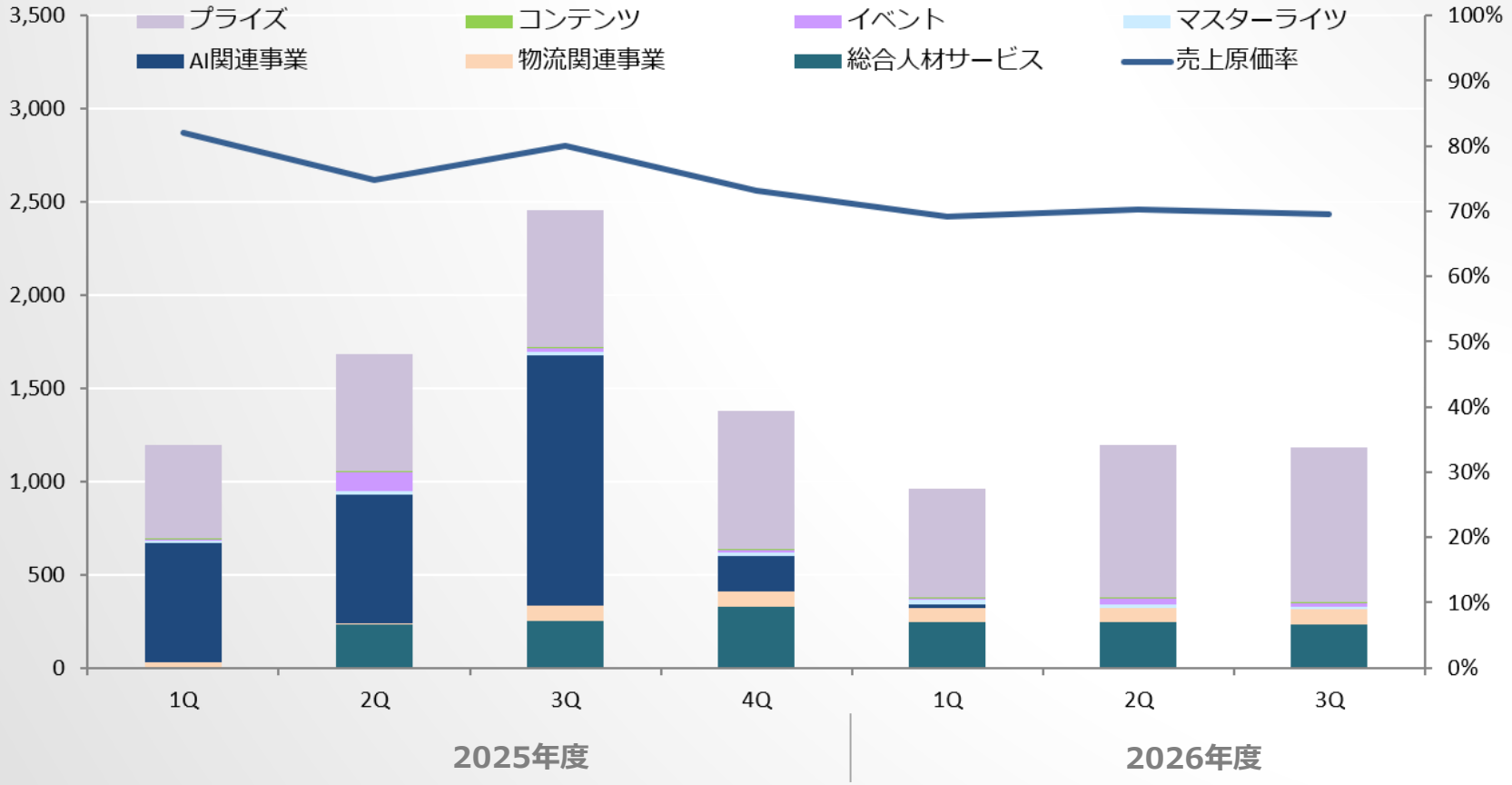
セグメント別の主な増減要因	
プライズ事業	外国人観光客の増加による需要などもあり、キャラクターグッズや雑貨系商材を中心に受注件数が好調に推移。さらにコスト低減に努めた結果、増収増益。
コンテンツ事業	電子書籍サイト「モビぶっく」において新規顧客の獲得、顧客継続率を高めるための施策を実施したものの、安定的な顧客の獲得には至らず減収、損失拡大。
イベント事業	前年同期に比べて大型イベントの開催が少なかった結果、減収、損失計上。
マスターライツ事業	特別号としてティーン向け雑誌「Popegg」の刊行、女子小中学生向け雑誌「Cuugal」の隔月の刊行のほか、「Popteen専属モデル次世代スター決定戦」などのイベントを開催。継続的なブランド価値向上に努めた結果、増収、利益獲得。
AI関連事業	GPUサーバー販売の事業縮小に伴い、減収、損失計上。
物流関連事業	一般貨物自動車運送事業の規模拡大により増収となったものの、燃料費高騰等の影響により損失を計上。 エムが行う貨物利用運送は受注を停止。
総合人材サービス事業	2025年3月に子会社を買収し、同年4月から当事業を開始。既存顧客の需要開拓、新規顧客の開拓を積極的に実施した結果、堅調に売上を計上。しかし、のれん償却費を吸収しきれず損失を計上。

プライズ事業が好調に推移し、総合人材サービス事業も売上に貢献。
一方で、GPUサーバー販売の事業縮小に伴うAI関連事業の売上減少。
グループ全体では前年同期比で約29.2%の減収。

©2026 FORSIDE CO.,LTD.

売上原価の推移

（単位：百万円）

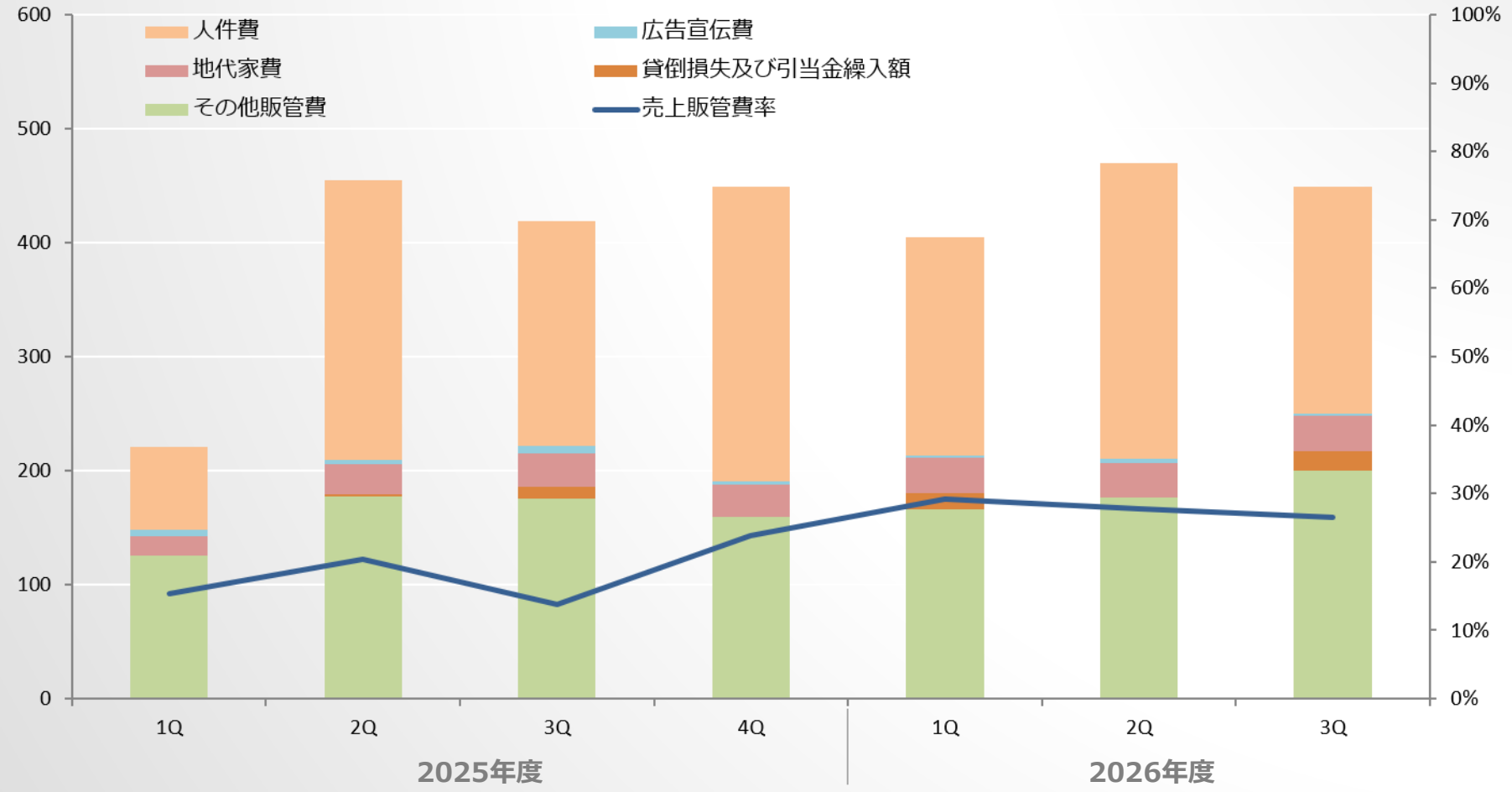


プライズ事業では、円安の進行や、輸送費・原材料費が高騰する中、原価低減に努め、前年同期と同水準の原価率に着地。
一方で、AI関連事業におけるサーバー販売を縮小したことに伴い、全社における売上原価率は低下。

©2026 FORSIDE CO.,LTD.

販売管理費の推移

（単位：百万円）



前第2四半期に開始した総合人材サービス事業の人件費が増加。
売上原価比率が高いGPUサーバー販売から販管費率が高い総合人材サービスへのセールスミックスの移行に伴い、販管費率は上昇。
M&A関連の一時的費用の発生も販管費率上昇の一因となった。

©2026 FORSIDE CO.,LTD.

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2025年度末	2026年度 第3四半期	増減金額	主な増減要因･傾向
資　産	4,722	4,616	△106	現金及び預金の増加298百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少383百万円、商品の増加85百万円、短期貸付金の減少59百万円、のれんの減少49百万円等により、前連結会計年度末に比べ106百万円の減少となった。
負　債	1,749	1,574	△174	支払手形及び買掛金の減少31百万円、未払金の減少87百万円、未払法人税等の減少25百万円、前受金の減少24百万円等により、前連結会計年度末に比べ174百万円の減少となった。
純資産	2,973	3,041	68	親会社株主に帰属する四半期純利益68百万円等により、前連結会計年度末に比べ68百万円の増加となった。

（※）株式会社エムが行う利用運送事業のうち実態の確認ができなかったものについて売上の取り消しを行っております。上記の前年度末数値は当該影響を反映した後の数値となっております。

（注） 2026年10月31日現在、発行済株式総数は43,687,704株（うち自己株式96,974株）

四半期純利益の計上等により、純資産は増加。

©2026 FORSIDE CO.,LTD.



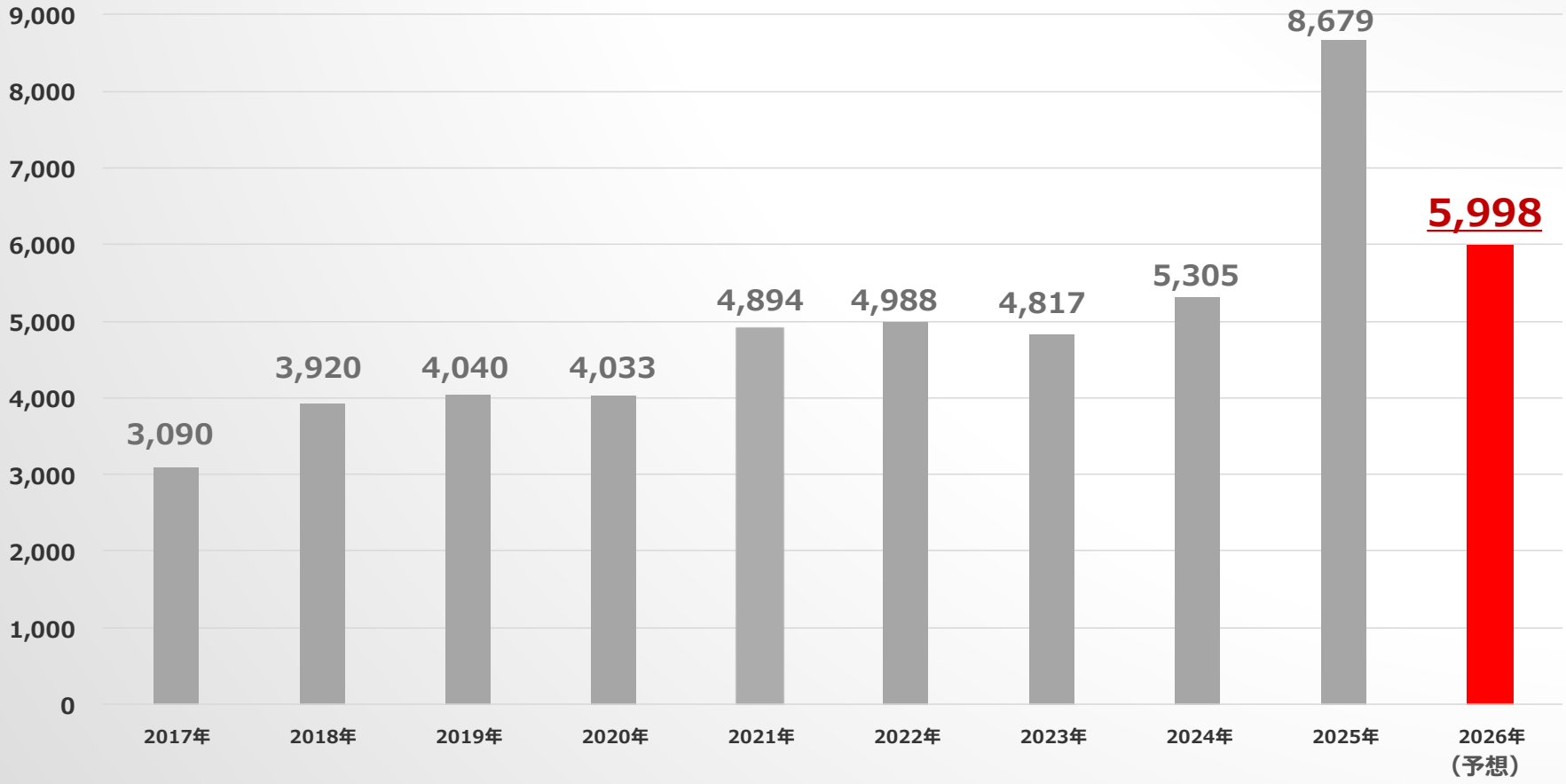
2026年12月期の業績見通し

©2026 FORSIDE CO.,LTD.

連結売上高（通期予想）

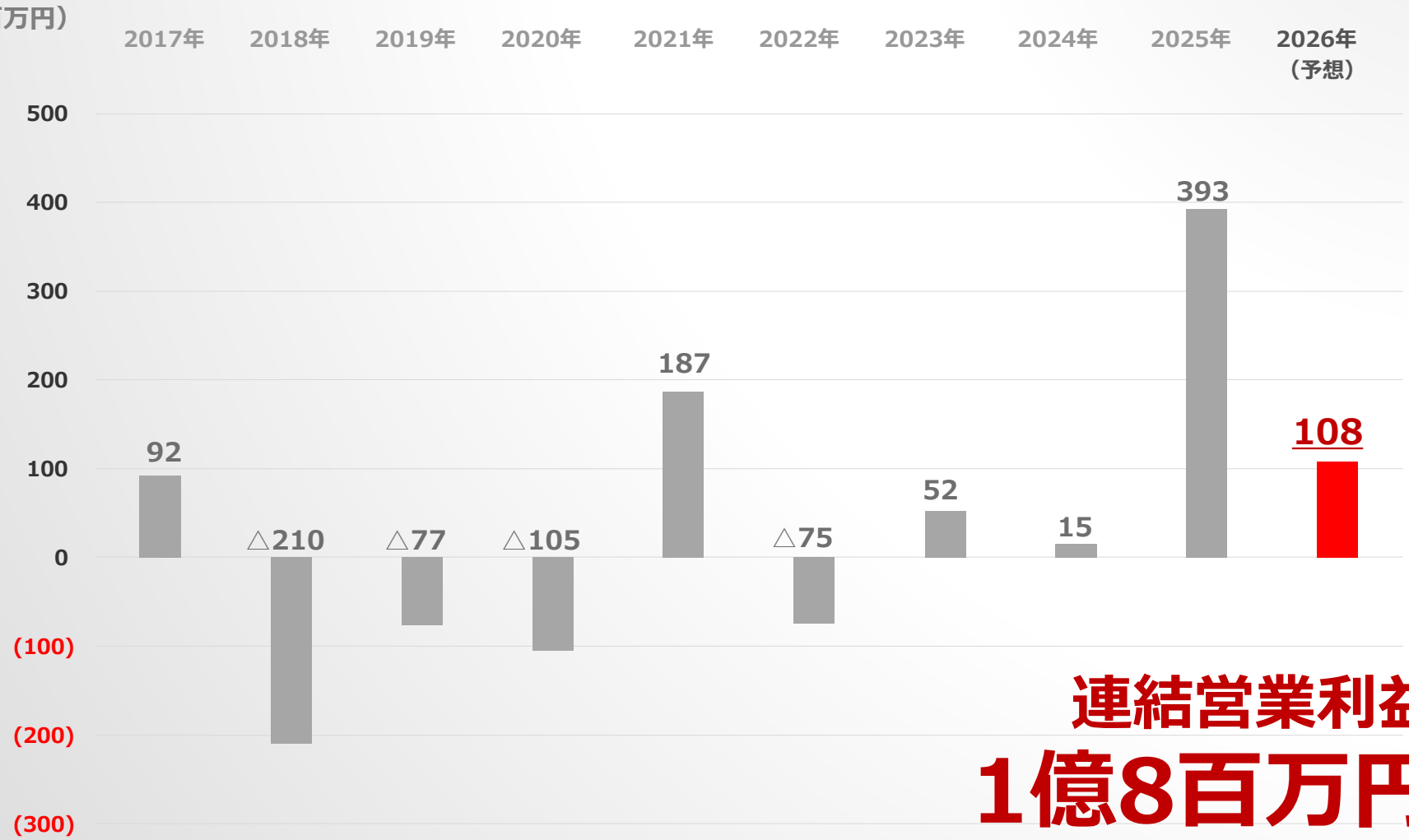
連結売上高59億98百万円

（単位：百万円）



©2026 FORSIDE CO.,LTD.

連結営業利益（通期予想）



連結営業利益

1億8百万円

©2026 FORSIDE CO.,LTD.



参考資料（グループ概要）

©2026 FORSIDE CO.,LTD.

フォーサイドグループ概要（2026年11月13日現在）

会 社 名	**株式会社フォーサイド**　（持株会社）
所 在 地	〒103-0022　東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階
設 立 日	2000年3月31日（2002年10月10日 JASDAQ上場　証券コード2330）
資 本 金	10,000,000円
経 営 陣	代表取締役　大島　正人　　常務取締役　大島　　崇 取締役　根津　孝規　　取締役　長尾　康裕　　取締役　大塚　美樹 監査等委員　田﨑　司郎　　監査等委員　田辺　一男　　監査等委員　瀬山　　剛
顧　　問	法律顧問　TMI総合法律事務所
事　　業	株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等
主な子会社	・㈱ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・製作・販売/イベント企画・運営 ・㈱antz：総合人材サービス事業/運送事業/ITソリューション事業 ・㈱ポップティーン：電子書籍配信事業/出版事業 ・㈱AI Tech Solutions：AIツール開発/AI開発支援用サーバー販売 ・㈱マカルーデジタル：ホームページ制作・保守運用/ホスティング ・㈱エム：一般貨物自動車運送事業/貨物利用運送事業

©2026 FORSIDE CO.,LTD.



―免責事項について―

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。
実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。
かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。
なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。

©2026 FORSIDE CO.,LTD.